

安田女子大学の家政学部造形デザイン学科を、自己推薦型入試で受けました。指定校もありましたが、自分らしさが表現でき、なおかつ、苦手を克服できる受験方法が自己推薦型だと考えたからです。

試験方法は、授業映像を見てメモを取り、そのメモを元にテストを解く授業理解試験と、受験学科の教授との面接です。

2021年の授業のテーマは「人間とコンピューター」。私が元々コンピューターなど機械に興味を持っていたのもあって、授業理解試験への勉強は然程苦ではありませんでした。本番でも全力を出し切れました。

問題は面接です。私は小学生、中学生の頃から、他人と相対して話すとき、悲しくないのに、緊張からか涙が止まらなくなり、声が震え、何も喋れなくなる事があります。それは今でも治っていません。更に致命的なのが、人と目を合わせられないことです。人と目を合わせようと意識すると余計に緊張し、話が詰まったりします。今回の受験の面接練習でもそれは顕著に出ました。最初の練習では他の人の目が気になり、集中できなくなり、泣が出ました。練習に付き合ってもらった先生には大変に迷惑をかけたと思います。しかし、先生方はほぼ毎日放課後、時間を作ってくださいました。面接で言うことは暗記ではダメだと、重要な部分を覚え、最低限それは言えるようにと練習しました。先生方は私の言うことを否定せず、励ましてくれました。私は否定されると途端に気分が落ち込んでやる気を失う面倒な人間なので凄くありがたく、気分が晴れたのを覚えています。

受験当日。初日の授業理解試験は特に難なく終え、二日目の面接試験。私は早めに出願していたのもあって、順番は早めに回ってきました。私の面接を担当してくれたのは、教科長と、オープンスクールであったことがある教授でした。面接は思ったよりあっさり、数分で終わりました。拍子抜けとさえ思ったほど早かったです。

受験で必要なことは、オープンスクールなどに行ってその大学について調べ、自分の苦手なことを練習するなど、考えうる限りの準備をしておくことです。

今回の受験で得たことは、大学以降の自分の進路に生かしていきたいと考えています。